SQS-SE-09-0166

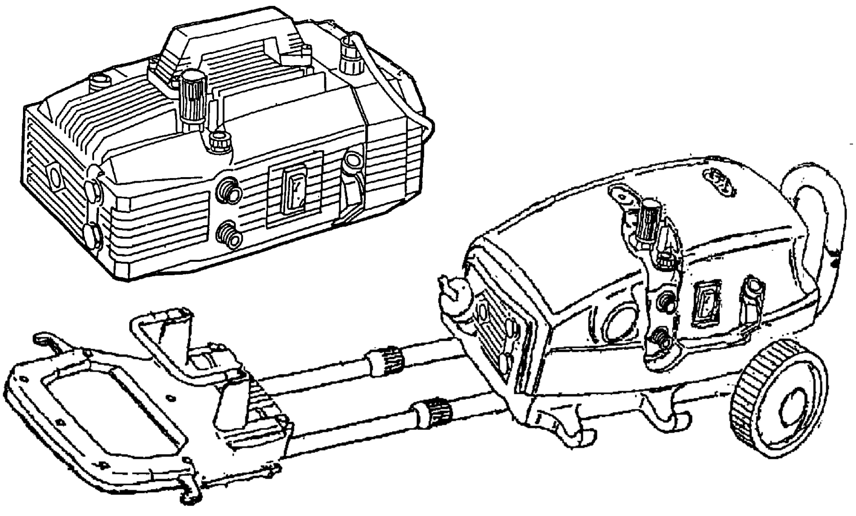
取扱説明書

JQA-QM8678

小型ポータブル洗浄機

SH-0807,SH-0807C,SH-0807K

R02　　2011/2



このたびはスーパーエース高圧洗浄機をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、
性能を十分ご理解の上、適切な取り扱いと保守をしていただき、
いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

―目次―

安全に使用していただくために ・・・・・・・・・・1.2.3.4

各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

運転準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7.8.9

運転方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10.11.12

使用後の取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

保守・点検について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14.15

故障診断 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

無料修理規定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

スーパーエース高圧洗浄機保証書 ・・・・・・・・・・・・・18

安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には十分満足いただけるものと信じております。
本書に従わなかった場合、重大な事故の原因になります。

本書中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその意味はつぎのとおりです。

⚠危険	誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いものを示す内容です。
⚠警告	誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容です。

●本書中で ⚠危険　⚠警告 が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。
注意を怠った場合には、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いので必ずお守りください。

●なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので　必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。
したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものでは、ありません。
本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。
取扱店とよくご相談ください。

⚠危険

・ 本機は非常に高い圧力水を発生しますので絶対に人、動物、自分の身体に向けて噴射しないでください。この洗浄機は業務用です。すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
・ 高圧水により、人体が負傷した場合、思わぬ事態になっている事が有りますので、早急に医学的処置を必ず行ってください。
・ 噴射ガンを噴射する時に高圧水による反動が有りますので両手でしっかりとガン及びランスを握ってください。
・ 高所で作業する場合、足場をしっかりと固定して落下防止対策を行い、安全に作業してください。
・ 本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。床面のしっかりした場所で、建物や設備から１m以上離して使用してください。
・ 本機のまわりに引火物を置かないでください。また、引火物が充満するような場所で使用しないでください。
・ 降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。感電や落雷の危険があります。
・ 本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
・ 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
・ 回転部分のカバー類を取り外したまま絶対に使用しないでください。
・ 運転中は回転部分に絶対に近づかないようにしてください。冷却ファン、ベルト、プーリーなどの回転部分に手や身体、衣服などが巻込まれて、けがをするおそれがあります。
・ 本機は指定の個所で吊り上げてください。指定以外の個所で吊ると本機の落下につながり大変危険です。
・ 本機のすべての部材は高圧力に耐える規格品を使用しておりますので、メーカー純正部品を使用してください。改造は絶対にしないでください。又、本機付属品は、磨耗や破損等が認められる場合には、直ちに当社販売店まで相談してください。

⚠警告

- 過労、病気、薬物の影響のある時、飲酒時、妊娠時は使用しないでください。
- ガン、ランス及び吐出ホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- 作業中は、高圧ホースを引っ張らないでください。
- 針金などを使ってガンのレバーを固定するようなことは絶対にしないでください。
- 高層建物でホースを垂直にはわす場合は、万一ホースの接続が外れても、ホースが落下しないように中間でホースを固定してください。

⚠注意

- 作業時は安全靴、ヘルメット、防護メガネ、防護服を着用してください。
- 作業中は、高圧洗浄機のまわりをよく見て安全を確認してください。
- 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- 清水を使用してください。ゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
- 工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。
- 本機使用の推奨温度は 0℃～40℃までです。吸水温度は最高 40℃までです。
- 圧力調整は指定圧力の範囲で調整を行ってください。上げ過ぎ、下げ過ぎ共に本機故障につながりますので注意してください。
- 冬期、凍結の恐れのある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。0℃以下になる地域では原動機を始動させて高圧ポンプ及び配管ほか付属品に不凍液を吸水させて保管してください。
- 冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯等で高圧ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。むりに原動機を起動させますと故障の原因となりますので注意してください。
- 空運転は絶対にしないでください。通常始動後約 10 秒程度で吸水をします。それ以上(最大１分間)たっても吸水しない場合は異常です。運転を中止して原因を調べてください。
- 本機の点検、整備、調整を行う場合必ず原動機を停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
- 日常点検、整備を必ず行い本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合な状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機を故障する原因となります。
- 高圧ホースを延長する場合は 60m までにしてください。60m 以上延長する場合は、当社販売店まで相談してください。
- アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

⚠危険

・一次側配線は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
・必ずアース線（緑色又は黄/緑）を接地してください。（電気設備技術基準　第 18～28 条により接地工事を行ってください。）
・アース線をガス管に接続しないでください。火災、爆発の原因になります。
・ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。
・ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。
・本機や通電部分（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に、高圧水がかからないようにしてください。また、濡れた手で通電部分をさわらないでください。
・電源が切られていない状態で、点検、整備をしないでください。感電のおそれがあり、非常に危険です。必ず本機スイッチを切(OFF)にし、さらに元電源を切ってから作業してください。

⚠警告

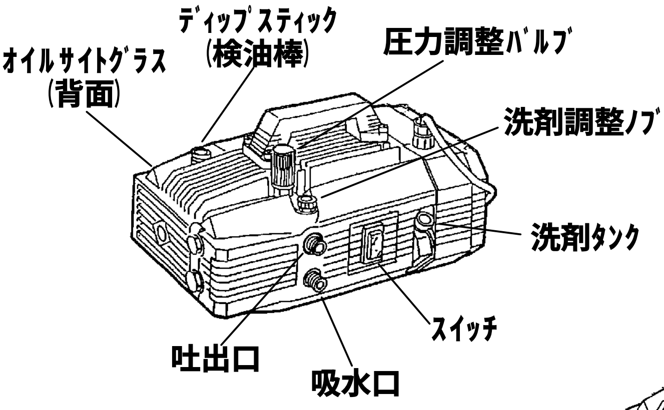
・エンジン溶接機など正弦波でない電源は、本機のタイマーや電子機器を焼損させますので使用しないでください。
・昇圧器などのトランス類は使用しないでください。故障や発火、発熱、焼損の原因になります。
・運転中、および停止直後はモータ本体や、周辺が熱くなっていますから、手や肌が触れないようにしてください。
・専用の漏電遮断器を必ず取り付けてください。
・スイッチ、又は電磁開閉器周りのカバーは、外さないでください。外す時は電源を切り、さらに元電源を切ってください。

⚠注意

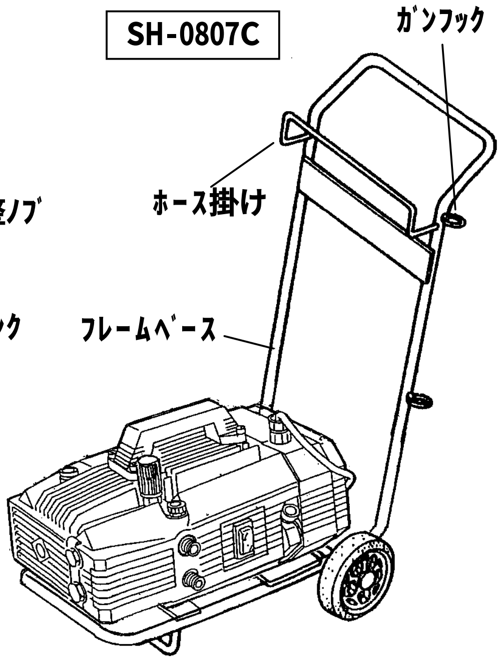
・運転中、停電または故障などで電源が切れた時は、本機のスイッチを必ず切(OFF)にしてください。
・指定の電圧・周波数で使用してください。電気部品の損傷につながります。

各部の名称

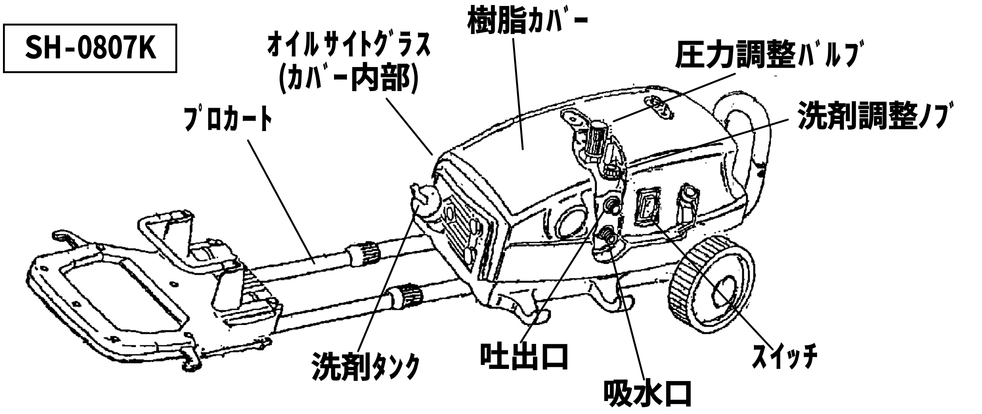
SH-0807



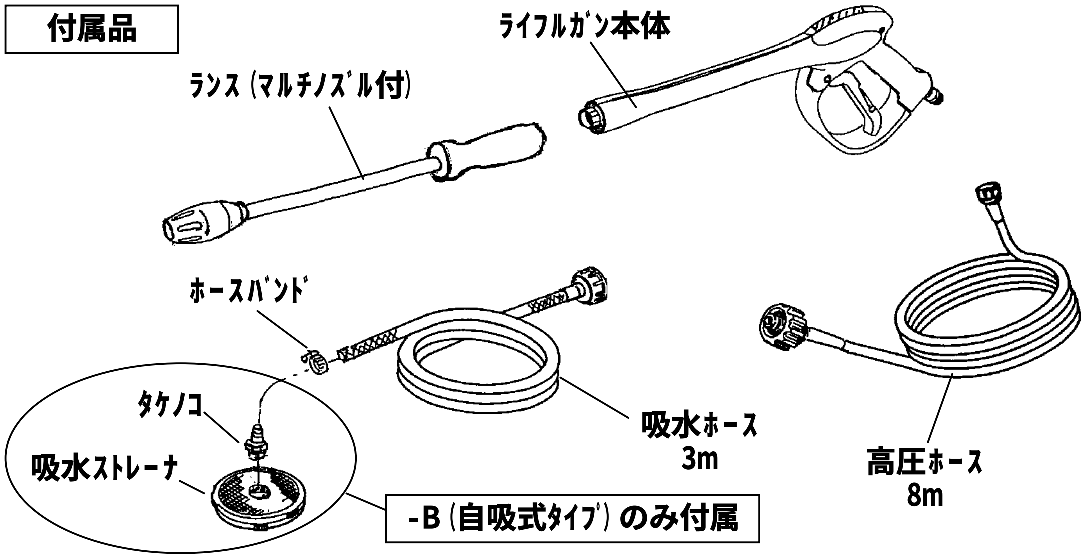
SH-0807C



SH-0807K



付属品



仕　　様

型式			SH-0807	SH-0807C	SH-0807K
ポンプ	最大吸水量 (50Hz/60Hz)	L/min	6／8		
	最高吐出圧力	MPa (kg/cm^2)	6 (61)		
	吸込揚程	m	2		
	回転数 (50Hz/60Hz)	rpm	1450／1750		
	伝達方式	−	ホローシャフト直結		
モーター	定格電圧	V	100		
	定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW	1.2／1.4		
寸法 (L×W×H)		mm	395×243×227	730×410×750	1050×350×370
乾燥質量		kg	18	22	25

標準付属品	-A (水道直結タイプ)	-B (自吸式タイプ)
高圧ホース 8m	1	
ライフルガン本体	1	
ランス (マルチノズル付)	1	
吸水ホース 3m	1	
ホースバンド	1	
ディップスティック (検油棒)	1 (SH-0807Kには付属しません)	
キャブタイヤケーブル 3m	1	
接地アダプター	1	
吸水ストレーナ (タケノコ付)	−	1

運転準備

１．使用環境

（１）電源の確認

①電源に感電防止用遮断装置（労働安全衛生規制　第３３３条及び電気設備基準　第２８条第４１条に規定されている装置）が設置されていることを確認してください。（接地線の太さは、１．６mm以上必要です。）

②電源に過負荷保護装置が設置されていることを確認してください。

⚠注意

- 感電防止の為、必ず接地（アース）を行ってください。
- 接地工事（地中に接地極アース板、アース棒を埋め、接地線を接続するなどの工事）を行う為には、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。
- 延長コードは、使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、線径２㎟で１０m以下もしくは、線径３．５㎟で３０m以下の物を使用してください。
  サーマルスイッチがトリップした（切れた）場合には、電圧低下による消費電流値の上昇が考えられます。（延長コードのトラブル以外でも、例えば屋内配線でコンセントの位置が配線盤より遠い等）その際は、圧力調整バルブのキャップを反時計回りに回して圧力を下げてください。

（２）水源の準備

⚠注意

- 自吸式で使用する場合は、本機の側に水槽又はタンクを置き、水道栓からホースで水道水を供給し、水源を準備してください。
  水源が本機よりも下にある場合は、本機と水面が２m以上にならないようにしてください。
  ☆　本機より水面が２m以上離れますと吸水しなくなります。
- 水道直結式で使用する場合は、必ず毎分９リットル以上供給可能な水源を使用してください。
  ☆　給水量が不足しますと能力が出ないだけでなく、本機を破損する恐れがあります。
- 水温は０～４０℃以内で使用してください。
  ☆　水温が低すぎたり高すぎたりしますと、ポンプ内部を破損する恐れがあります。
- 水道直結式で使用する場合は、地方自治体の水道法の法的規制を受ける場合があります。
  詳細については所轄の自治体にお尋ねください。
- 泥水等は使用しないで、必ず清水を使用するようにしてください。
  ☆　異物がストレーナを詰まらせたり、ポンプ内に異物が混入しポンプを破損する恐れがあります。

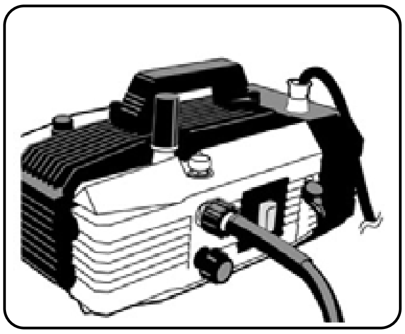
運転準備

（３）トリガーガン・高圧ホースの接続

⚠注意

・各部の接続は確実に行い、Ｏリングやバックアップリングが欠損している場合は、
その部分より高圧水が噴出する恐れがありますので、直ちに交換してください。

＊高圧ホースの本体側（黒いプラスチック側）を本体に、
ねじ込んで接続します。



（４）吸水ホースの接続

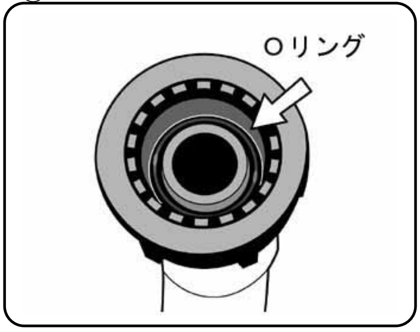
⚠注意

・金具の接続は完全か、ストレーナの目詰まりや破れ、ホースの折れや破損がないか
確認してください。

①本体吸水口とラインストレーナに異物が混入していない
ことを確認してください。

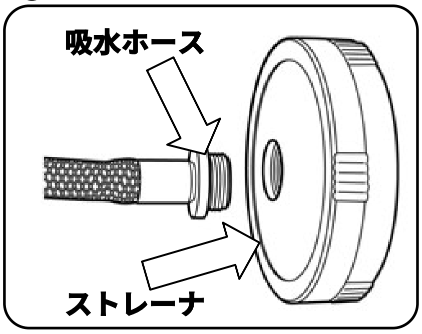
②吸水ホース本体接続側にＯリングがはめ込まれていること
と吸水ストレーナに異物が混入されていないことを確認し
てください。

②



③吸水ホースとストレーナを取り付けます。
吸水ホースをタケノコはホースバンドでしっかりと止めて
ください。

③

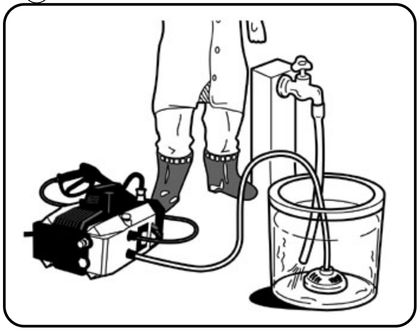


運転準備

④吸水ホースを本体に接続し、ストレーナを水源に沈めます。

⑤水道直結の場合は、付属の吸水ホースを水道口に
　ホースバンドでしっかりと止めてください。

④



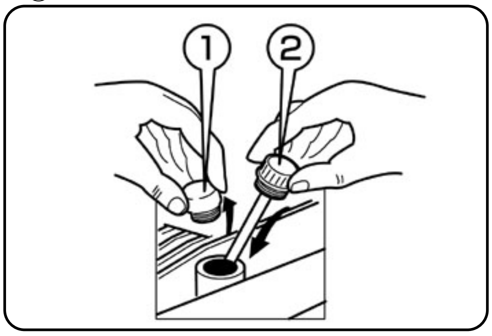
（5）オイルゲージ付キャップの取付（ＳＨ－０８０７Ｋは除く）

①ポンプのオイルは工場出荷時に充填されています。

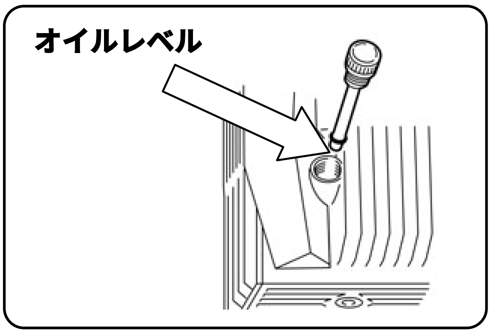
②輸送用の赤色のキャップ（1）を外して、付属の黒色のオイルゲージ付キャップ（2）と
　交換してください。

③ポンプオイルの量はオイルゲージ下部のオイルレベルを参考に確認してください。

②



③



（6）洗浄機の設置

運転中にポンプ内部が正しく潤滑されるように、水平な平面に設置してください。

運転方法

１．始動方法

（１）エア抜き方法

⚠警告

・濡れた手で電源スイッチを触らないでください。
　☆感電する恐れがあります。
・電源プラグを差し込むときは、電源スイッチがＯＦＦになっていることを確認してください。
　☆電源スイッチがＯＮの状態で電源に差し込むと、本機が急に動き事故の原因になります。

①洗浄機本体の電源スイッチがＯＦＦになっていることを確認して、電源プラグを電源に差込みます。

②水道直結の場合は水道栓を全開にしてください。自吸の場合はストレーナを完全に水没させてください。
スイッチを入れて高圧ホースの先からエアが抜けるまで水を出してください。

③エアが完全に抜けたらスイッチを一度止めてガンを高圧ホースにスパナでしっかりと取付けて、再度スイッチを入れて作業を開始してください。

(2）電源スイッチをＯＮにしても動かない場合

⚠警告

・必ず電源プラグを抜いて、電源スイッチをＯＦＦにしてから以下の処置を行ってください。
　☆誤って電源が入った場合危険です。
・操作後はマイナスドライバーを抜いてから電源に電源プラグを差込み、電源スイッチをＯＮにしてください。
　☆マイナスドライバーを差し込んだまま電源スイッチをＯＮにすると、飛び出したドライバーで、けがをする恐れがあります。

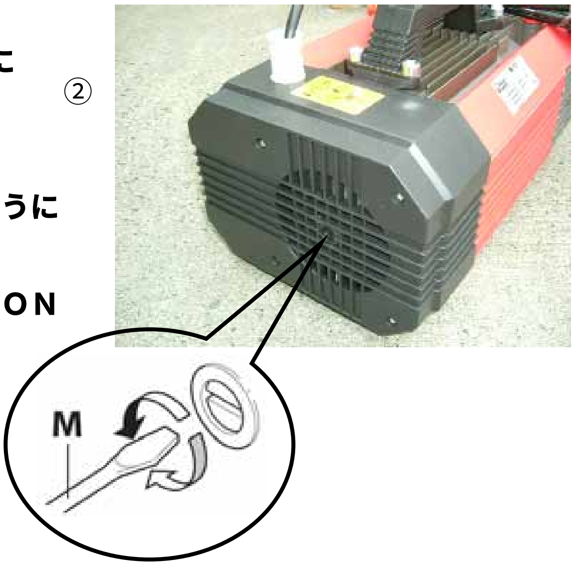
電源スイッチをＯＮにしても動かない場合は、直ちに電源スイッチをＯＦＦにして電源プラグを電源からぬいてください。

①マイナスドライバーをモータ軸に差込み、図のように３～４回転モータを手で回してください。

②マイナスドライバーを取り外し、電源スイッチをＯＮにしてください。

＊長期保管後の始動の際は、繰り返し必要な場合もあります。

②



運転方法

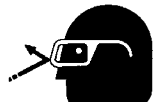
２.洗浄作業

⚠警告

・ゴーグルなどの保護メガネを着用してください。

☆噴射水が、砂や泥などと一緒に跳ね返ってくることがあります。

保護具



・高圧噴射を行う際は、噴射水の反動に注意してください。

☆しっかりとガンを保持しないとトリガーガンが急に跳ね上がります。

・洗浄前に対象物の変形、破損、移動がないことを確認してください。

・絶対にひも・針金などでトリガーを引いた状態のまま固定しないでください。

☆不意にスイッチが入ったとき危険です。

・運転作業中以外は、トリガーのストッパーレバーを使用し、不意にトリガーが引かれることのないようにしてください。

☆転倒などした場合に誤って噴射されることを防ぎます。

感電

・ノズル先端をのぞき込まないでください。

☆不意の噴射で失明する恐れがあります。

・人や動物に噴射口を絶対に向けないでください。

☆けがをする恐れがあります。

・本機はアンローダバルブによってトリガーを放しても、ポンプに負担のかからない状態になりますが、１分以上使用しない場合は電源スイッチをＯＦＦにしてください。

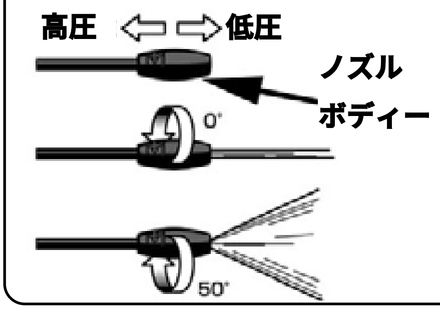
☆ポンプの寿命を縮めるだけでなく、不意にトリガーが引かれると危険です。

・噴射後電源を切ってもホース内に高圧水が残っていますので、トリガーを引いて残圧を抜いてください。

☆残圧が残っていると機械が始動しません。

・ランスのノズルボディ（黒いプラスチック部分）を、手前に引くと高圧噴射に、前方に押すと低圧噴射になります。通常の洗浄作業は高圧噴射で、洗剤を混入する場合は低圧噴射で行ってください。

・ノズルボディを左右に回すことで噴射角度が０°～５０°まで無段階に調整が可能です。



①トリガーガンをしっかり固定し、トリガーを引いた状態で電源スイッチをＯＮにします。

②噴射水が安定するまでしばらく放水します。同時に各接続箇所から水漏れが発生していないか確認してください。

③ノズルを目標物に向け、トリガーを引いて洗浄します。

④トリガーを放すと噴射が止まります。

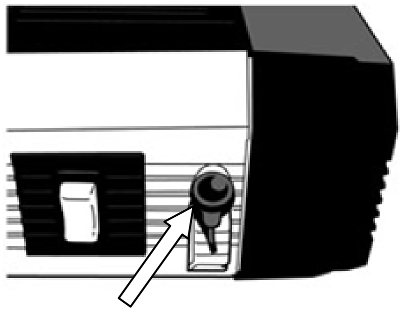
運転方法

３．　洗剤（薬剤）の自動混入方法

⚠警告

・洗剤混入は、低圧時のみ可能です。
・薬剤（薬品）を混合して使用する場合は、ガソリン・シンナー等の有機溶剤や、強酸性溶剤・強アルカリ性溶剤のほか劇物・毒物等は絶対に使用しないでください。思わぬ事故を招く原因となります。特殊な薬剤（薬品）などを使用される場合には、必ずお買い上げの販売店および弊社営業所に問い合わせのうえ安全を確認してから使用してください。

①洗剤タンクのキャップを外し、洗剤（薬品）を入れてください。（約６００ｃｃ）
②ノズルボディを前方に押し低圧噴射状態にします。
※高圧噴射状態では、混入しません。
③洗剤混入つまみを開く（左へ回す）と、洗剤（薬品）が混入されます。
④混入量は洗剤の種類により異なりますので、洗剤混入つまみで加減してください。
※洗剤混入が可能なホース長さは最大で約１５ｍです。
使用環境や部品の消耗により、ホースの最大長さが変わります。

①

洗剤タンクキャップ

４．　圧力調整方法

⚠注意

・圧力の調整は必ず所定の範囲で行うようにしてください。圧力の上げ過ぎや下げ過ぎは、故障の原因となります。

(1) 圧力調整ノブを左に回すと圧力が低下し、右に回すと圧力は上昇します。
(2) 出荷時は最高圧力に設定されていますので、それ以上に上げないでください。上げ過ぎますと、始動しない、電源ブレーカが作動するなどの症状が起き、本機を損傷する恐れがあります。（２MPa～規定圧内でお使いください。）

使用後の取扱い

１． 作業の終了及び水抜き方法

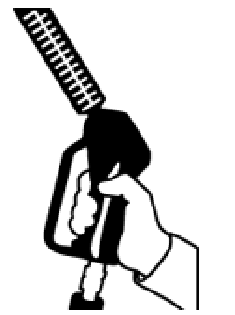
次回の始動を容易にするため、また、冬季にポンプの凍結を防止するために、必ず作業後は水抜き作業を行ってください。

注意

・室内などの乾燥した場所に保管してください。
　☆湿度の高い場所での保管は故障の原因となります。
・軒下など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しないでください。
　☆本機に水がかかりますと、故障の原因になります。
・子供の手が届いたり簡単に持ち出せる場所には保管しないでください。
・冬季など凍結が予想される場合は、０℃以上の場所に置いてください。
　☆ポンプが凍結すると故障の原因となります。
　☆やむを得ず０℃以下の場所に保管する場合は、ポンプ内に不凍液を吸入させるようにしてください。
・水抜きの為の空運転は、３０秒以内としてください。
　☆長時間空運転するとポンプが故障する恐れがあります。

①トリガーガンのトリガーを放して噴射を止め、本機の電源スイッチをＯＦＦにします。
②吸水ホースを水源からあげて、トリガーガンのトリガーを引き高圧ホース内の残圧を抜きます。
③高圧ホースからトリガーガンを外し、トリガーガン内の水を抜きます。
　※先端部を上に向けてトリガーを引くと容易に水が抜けます。

③



④電源スイッチをＯＮにして３０秒間空運転をし、高圧ホースから水がでなくなるまで運転させます。水がでなくなりましたら電源スイッチをＯＦＦにします。
⑤吸水ホースを本体から外し、ホース内の水を抜きます。
⑥電源から電源プラグを抜きます。
⑦外部を布で拭き、湿気・ほこりを防げる場所に保管してください。

保守点検について

１． ストレーナ点検作業

・本体吸水口の中にあるストレーナを点検・清掃してください。
全く吸水しない，断続的に吸水している，高圧ホースが異常に振動する，圧力が既定値まで上昇しない，圧力が安定しないなどの症状は、ストレーナの目詰まりが予想されます。
★金網が破損していたり目詰まりが取れない場合は、新しいストレーナと交換してください。

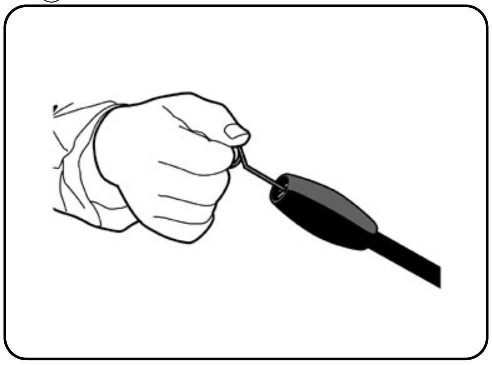
・長期間（１ヶ月以上）使用しなかった場合には、必ず使用前にストレーナを点検・清掃してください。

２． ノズルの清掃作業

・全く水が噴射されない，水の噴射が少ない，圧力が異常に高いまたは低い，真っ直ぐ噴射されないなどの症状は、ノズルの詰まりが予想されます。

①トリガーガンからランスを取り外します。
②ノズル穴に付属のノズル掃除棒などを差し込んで、回しながら詰まっている異物を取り除いてください。
③ランス先端部から水などを流して、完全に異物を取り除きます。
④再度トリガーガンとランスを組み付け異常がないことを確認してください。
⑤上記の作業を行っても不具合が解消されない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社営業所まで連絡をお願いします。

②



・ノズルは消耗品です。他の部品に異常がなく、圧力が低い場合はノズルの交換が必要と考えられますので、交換してください。交換頻度は、使用時間，水道水のミネラル類の含有量によって異なりますが、およそ圧力が既定値の８５%以下になった場合は、交換が必要です。

３． その他の点検作業

・高圧ホースの損傷、接続の緩みなどを常に点検してください。また、必要に応じて新品と交換、またはお買い上げになった販売店などにご連絡ください。

・高圧ホースやトリガーガンなどの接続部分に組み込まれていますOリングやバックアップリングに損傷がないことを確認してください。

・電源コードや電源プラグの損傷、接続の緩みなどを常に点検してください。また、必要に応じて新品と交換、またはお買い上げになった販売店などにご連絡ください。

４． ポンプオイルの点検・交換

警告

- 作業終了直後は、ポンプが高温になっています。ポンプやポンプオイルには直接触れないでください。やけどをする恐れがあります。
- オイル交換後は、適量を入れて確実にオイルキャップを締め、漏れがないようにしてください。

☆オイルゲージ付きキャップの空気抜き穴からの少量の油漏れは異常ではありません。

ポンプオイルの交換時期

ポンプオイルの交換時期	１回目	運転５０時間後
	２回目以降	運転２００時間毎
オイルの種類		４サイクルエンジンオイル ＳＡＥ－１０Ｗ３０ またはＳＡＥ３０番のいずれかのグレード

(1) ポンプオイルは出荷時に給油しています。

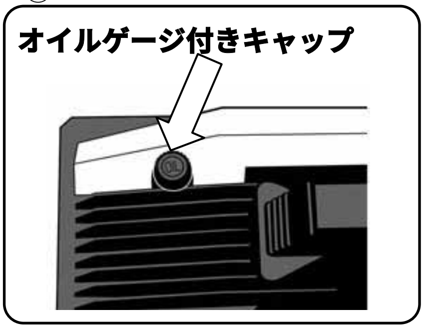
(2) 交換作業は洗浄作業完了後、ポンプ（ポンプオイル）が暖かいうちに行ってください。
そうすることによって、ポンプオイルの排出が早くできます。

①オイルゲージ付きキャップを外し、オイルの色を確認します。白濁，変色が見られる場合には、交換時期に達していない場合でもポンプオイルを交換してください。

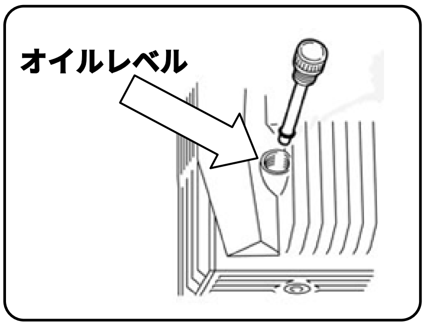
②オイルゲージ部分に付着したオイルを布などでふき取ります。注油口にオイルゲージ付きキャップを差し込み、再度取り出しオイルの量を確認します。オイルゲージのオイルレベル位置が適量です。
オイルレベルはディップスティック（検油棒）でもオイルサイトグラスでもチェック出来ます。ＳＨ－０８０７Ｋは、本体を横にしてオイルサイトグラスで確認してください。

③オイルレベルより下にオイルが付着している場合は、ポンプオイルが不足していますので新しいオイルを補充してください。オイルレベルより上にオイルが付着している場合は、ポンプオイルが過充填されていますので、ポンプ下のドレンよりオイルを排出してください。

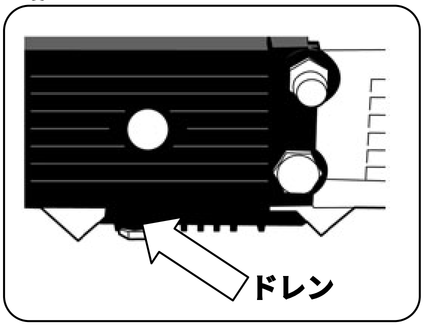
①



②



③



故障診断

１． モータが動かない（音がしない）

①電気は１００Ｖきていますか。

②ブレーカーが切れていませんか。

③電源プラグが接触不良をおこしていませんか。

④コードは断線していませんか。

２． モータが動かない（音はする）

①昇圧器などを使用したために電源電圧は低くなっていませんか。

②細い延長コードを使用して電圧降下をおこしていませんか。

③長期間の保管ためにパッキンとプランジャが固着していませんか。

④高圧ホースの中に残圧をかけたまま始動していませんか。

３． 水を吸わない

①ポンプと水面の高さが２m以内ですか。

②ストレーナに詰まりはありませんか。

③吸水ホースが損傷していませんか。

④吸水ホースの本体接続側ネジ部に付属されています、Ｏリングが損傷していませんか。

４． 圧力が上がらない

①圧力切り替え部が低圧側になっていませんか。

②エア抜きバルブは閉じていますか。

③ストレーナに詰まりはありませんか。

④各接続部から水漏れはありませんか。

⑤各接続部のＯリングに傷がありませんか。

５． 圧力が不安定、ホースが振動する

①エア抜きバルブは閉じていますか。

②ストレーナに詰まりがありませんか。

③吸水ホース・高圧ホースが損傷していませんか。

④各接続部から水漏れはありませんか。

⑤各接続部のＯリングが損傷していませんか。

⑥水源の温度は４０℃以下ですか。

６． 水が出ない

①水源は確保されていますか。

②ストレーナが水面から上がっていませんか。

③ノズルが詰まっていませんか。

無料修理規定

1.保証の内容

製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不都合が生じた場合、この保証書に示す
期間と条件に従って、無償修理致します。(以下この無償修理を保証修理といいます。)
保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した
不都合部品はスーパー工業㈱の所有となります。

2.保証期間

保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間以内といたします。

3.保証できない事項

(1) 次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。

① 弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・
禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。
② 弊社が示す使用の限度を越える使用。
③ 弊社が認めていない改造又は変更。
④ 純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。
⑤ 経時変化による自然変色発錆。
⑥ 機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)
⑦ 天災・地変による損傷。
⑧ 弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。
⑨ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは
保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

① 損傷部品を紛失された場合の修理費用。
② 不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。
③ 下記に示す消耗部品及び油脂類等。
各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・
シール等及びこれに類する消耗部品 。

＜ご注意＞

保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。

ご使用の前に取扱説明書をよく読んでください。

スーパーエース高圧洗浄機
保　証　書

このたびはスーパーエース高圧洗浄機をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
下記記載の製品について本書記載内容（17 ページ記載）で保証いたします。なお、この
保証書は日本国内で使用される場合に適用いたします。

<table>
<tr><td colspan="2">機種・品番</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間</td><td>製品引渡し日より起算し１年間</td></tr>
<tr><td colspan="2">納入年月日</td><td>平成　　　年　　　月　　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">お客様</td><td colspan="2">ご住所</td></tr>
<tr><td colspan="2">お名前</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話番号</td></tr>
<tr><td>納入店名</td><td colspan="2">住所・店名

電話　　　(　　　)</td></tr>
</table>

MEMO

MEMO

MEMO

スーパー工業株式会社

本社・大阪営業所	大阪府摂津市鳥飼本町 5 丁目 3-7
〒566-0052	TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354
大　阪　工　場	大阪府摂津市鳥飼本町 2 丁目 2-48
〒566-0052	TEL(072)654-3990　FAX(072)653-2912
東 京 営 業 所	東京都江戸川区中央 4 丁目 15-13
〒132-0021	TEL(03)3653-2411　FAX(03)3653-2420
名古屋営業所	愛知県名古屋市緑区野末町 208
〒458-0915	TEL(052)626-3701　FAX(052)626-3702
札 幌 営 業 所	札幌市白石区菊水 7 条 1 丁目 1-24
〒003-0807	TEL(011)823-3661　FAX(011)823-3666
福 岡 営 業 所	福岡県粕屋郡志免町大字別府 599-3
〒811-2205	TEL(092)622-6273　FAX(092)622-6279
サービス工場	大阪府摂津市鳥飼本町 5 丁目 1-7
〒566-0052	TEL(072)653-2721　FAX(072)653-2354
沖 縄 駐 在 所	沖縄県那覇市首里当蔵町 1-18-3
〒903-0812	TEL(098)887-0089　FAX(098)887-0089

http://www.super-ace.co.jp　E-mail:info@super-ace.co.jp